

事例 **7**
効果的な広報により、組織への女性の参画を促進、活躍の場を広げる！
静岡県浜松市

取組概要

- 女性の消防団員の募集に力を入れ、実際に活躍する女性にスポットを当てたPR動画などで女性の参画を促進

取組のきっかけ 『女性団員が当たり前活躍できる消防団にしたい！』

以前は消火活動など男性団員と同じ活動での募集だったことや、女性が活動するための環境が整えられていなかったこともあり、女性団員はほとんどいなかった……

↓

平成25年の法改正を機に「浜松市消防団のあり方検討会」にて団の方向性について議論した結果、新たな消防団員への資機材の使い方などの指導や、地域住民への防災教育を行う「教育隊」を設置することに。

↓

教育隊の中でも、主に応急救護の指導や災害時の負傷者の手当等の役割を担う「**応急救護指導部**」が発足し、女性の加入のきっかけに。

↓

実際に消防団員として活躍する女性たちの声を取り入れながら、PR動画等で活動を広め、女性も活動しやすい消防団を目指そう！

静岡県
浜松市 消防総務課

電話: 053-475-7524
<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/bosai/shobo/>

浜松市HP

事例7 「効果的な広報により、組織への女性の参画を促進、活躍の場を広げる！」 静岡県浜松市

【取組概要】

- 女性の消防団員の募集に力を入れ、実際に活躍する女性にスポットを当てたPR動画などで女性の参画を促進しました。

【取組のきっかけ】

- 以前は消火活動など男性団員と同じ活動での募集だったり、女性が活動するための環境が整えられていませんでした。そのため、平成17年度から女性団員を採用していましたが入団者数はごくわずかで、女性団員はほとんどいない状況が続いていました。
- 平成25年に施行された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を踏まえ、消防団員の活動内容の幅が拡大し、救助、応急救護、地域住民への指導などの役割が任務として新たに付与されました。それを機に「浜松市消防団のあり方検討会(※)」にて団の方向性について議論した結果、新たな消防団員への資機材の使い方などの指導や、地域住民への防災教育を行う「教育隊」を設置することになりました。
- 教育隊の中でも、主に応急救護の指導や災害時の負傷者の手当等の役割を担う、「**応急救護指導部**」が発足し、女性の加入のきっかけになりました。指導部発足後、女性団員の人数が増加し、平成29年以前には10名もいなかった女性団員が、令和4年度現在、44名になりました。
- 実際に消防団員として活躍する女性たちの声を取り入れながら、PR動画等で活動を広め、女性も活動しやすい消防団を目指しています。

※「浜松市消防団のあり方検討会」は、東海地震対策を緊急に進めていく必要があることから、大規模災害時における消防団の活動のあり方等について検討することを目的として開催されました。
(https://www.fdma.go.jp/relocation/syobodan_katudo_kento/cyukan_houkoku/jirei/07.pdf)

1 アンケートや広報の効果を分析し、女性団員にスポットを当てた動画で女性の参画を促進！

プロモーション事業

- 効果的なプロモーションの方法を探るため、市が無作為のWebアンケート調査を行った
 - アンケートの結果、女性の関心が高かったことを踏まえ、現在活躍する女性団員にスポットを当てた動画やWeb広告を作成し、広報している
- こんないいことがあった！
- 動画を作成するにあたり、実際に活躍している女性消防団員にヒアリングを行った
 - 入団のきっかけや実際の活動などの話を伺い、動画に反映した
- こんないいことがあった！

Webアンケートの実施により消防団の活動に興味を持っている女性が多いことを客観的データで示せ、女性の加入促進や活躍の推進につながった！

実際に活躍する女性の意見を聞き、男性だけでは分らなかった視点に気づいたり、思い込みを解消したりする機会となった！



ありのままの自分で活動できる！



女性の声が届きやすくなった！



コラム

女性団員による主体的な活動

教育隊では、消防団員に対する応急手当の教育や地域住民に対する訓練指導、子どもたちへの防災教育などを実施しており、その中で、女性団員が独自のアイデアを持ち寄りながら、主体的に活動をしています。今後は、消防資機材の軽量化をはかるなど、女性団員による活動の幅を広げていきたいと考えています。

①アンケートや広報の効果を分析し、女性団員にスポットを当てた動画で女性の参画を促進！

<プロモーション事業>

- 効果的なプロモーションの方法を探るため、令和2年度から国の補助金を活用し、消防団プロモーション事業を展開しています。市が無作為のWebアンケート調査や動画の視聴回数、ホームページの誘導数などを調査しました。調査の結果を分析したところ、動画のクリック数から、消防団の活動に興味を持っている女性が多いことが分かりました。このような傾向を客観的データとして示すことができ、女性の消防団員の募集を強化するために、実際に活躍する女性団員にスポットを当てた動画やWeb広告(※)を作成し、広報するなど、女性の加入促進や活躍推進につながっています。これにより、令和3年には35名だった女性団員の人数が令和4年には44名と、1年で9名増えました。
- 動画を作成するにあたり、実際に活躍する女性の消防団員にヒアリングを行い、入団のきっかけなどの話を動画に反映しました。団員のリアルを伝えるために、ヒアリングを通して消防局の職員が女性団員の意見を聞き、女性活躍をテーマにしたPR動画では、テーマやキーワードが男性に響くものとは異なることなど、男性だけでは分らなかった視点に気づいたり、「小さい子どもを育てている女性には厳しい」、「女性は消防団にあまり興味がない」などといった思い込みを解消したりする機会となりました。また女性団員が増えたことで、1人では届きづらかった女性の声が届きやすくなりました。男性団員と同様の活動がしたいという女性団員も在団しているため、消防資機材の軽量化をはかるなどして、活躍の場を更に広げられるよう検討していきます。

※「新しい私、見つけてみませんか。」女性消防団員募集動画
<https://www.youtube.com/watch?v=lheStlr0loU>